

プログラム様式

プログラム名	森の音楽隊	
対象年齢	年中・年長（4～6歳）	
メッセージ	森には多様な命やいろいろな音があることに気づこう	
ねらい	発見・体験できること ・見たり、探したりする楽しさ ・いろいろな音	
参加者のめやす	幼児 35人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド	森・社寺・林・公園 山・里山 川 湖・池 田畑・野原 園庭・公園	
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
10分	①静と動の自然の音を感じる ・飛んだりねたりしながら自分が作る音を感じる ・立ち止まって、目・口を閉じて耳から聞こえる音を感じる ②どんな音が聞こえたか話し合う ・写真を見る	・活動に興味を持てるように話を進める。 ・静かに聞けるような雰囲気づくりをする。 袋からどんな音が聞こえる？ ・子どもたちの音のイメージがふくらむよう話を進める。 ・枝を折る、こする、たたく ・音あてゲーム、何の音でしようゲーム →袋に葉、枝、振る、こする ・注意事項を伝える。 笛の合図で元の場所に戻る。 下に落ちている自然物だけを使うこと。 支援者が見える範囲で探すこと。 必要であれば袋を取りに来ることを伝える。
自然の音を探してみよう		
10分	③音探し	・色々な自然物があることに気づいていけるよう声かけをする。 ・安全に配慮しながら子どもたちを見ていく。 ・子ども同士でいろんな音を紹介していけるように見守る。



時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
5分	④探してきた音を伝え合う ・グループごとに音の発表をする（どんぐりころころ） ⑤全員で「どろんこたいよう」を歌いながら楽器を鳴らす	・グループの音の違いに気づいていけるようにする。また、子どもたちの気づきに共感したり、援助したりしていく。 たいこみたい！
5分	⑥ふりかえり ・森にお礼を言いながら作った自然物を戻す	・森の中で発見した音をふりかえり、森の中にはいろいろな命の音があることに気づけるよう声をかける。 ・木の枝や落ち葉や木の実が土にかかって次の命につながることを伝える。 ・次回のあそびに期待を持てるような声かけをする。 また来て遊びたいな
【園や家庭へ帰ってから】 ◆本物の楽器に触れてみる。 ◆園、家で静かにして周りの音を聴いてみる。 ◆家でならせる音について、親子で話す機会を作る。 ◆公園で自然物を拾って持ち帰り、園で作る。 ◆演奏会で用いる。		
準備物・教材等	・ビニール袋 ・封筒 ・笛 ・写真（インターネットで探す。なじみのある楽器）	

